

令和2年（2020年）5月13日

長野県畜産試験場

豚人工授精支援事業のお知らせ

畜産試験場では、昨年のCSF発生により休止していた養豚関連事業の再開に向けて、現在、新豚舎の建設を進めています。

今年度は豚の飼養がないため、この間に県内養豚農家の皆様と飼養管理の情報交換や技術支援を行いたいと考えています。

その一環として皆様の農場に当场職員が伺い、現地で人工授精に係る次の内容について支援を行います。

＜人工授精技術指導＞



人工授精の導入を考えている農家、または再確認を希望する農家を対象にした研修を行います。

＜種雄豚の精液検査＞



自家採精をしている農家を中心に、種雄豚の精液性状を検査します。検体は持ち帰り畜産試験場で検査します。

＜深部注入カテーテルの使用方法的紹介＞



（上：未經産用深部注入カテーテル、下：経産用）

精液を子宮の深部まで注入可能なカテーテルの販売が開始され、畜試では数年前から利用していますが、通常カテーテルと比較して良好な成績を確認しています。この深部注入カテーテルの使用方法的を紹介いたします。

出張にあたっては、所管家畜保健衛生所の助言や農家の皆様の指示のもと、衛生対策を徹底して入場します(出張した場合は、原則3日間以上空けて他の農場に伺います)。ご希望に添える内容の研修または支援となるかわかりませんが、現地で貴重な情報の交換ができればと思います。なお、日程が集中した場合は調整させていただきます。

ご希望の方は畜産試験場養豚養鶏部までご連絡下さい。

連絡先：長野県畜産試験場 養豚養鶏部

TEL:0263-52-1188

（担当）養豚養鶏部長：保科 和夫

FAX:0263-51-1316

研究員：安藤 順一

E-mail: chikusanshiken@pref.nagano.lg.jp